

**住みよい  
まちづくりを**  
学区内人口  
(令和7年1月1日現在)  
世帯数 1,565  
人口 3,127  
人男子 1,495  
人女子 1,632  
高齢化率 42.4%

# 仲町 ふれあい

発行  
仲町学区  
コミュニティ推進会  
原孝介  
仲町交流センター内  
0294(21)5564  
印刷  
第一印刷㈱  
0294(22)6281



「桜塚」と彫られた石碑

この公園は、まさに日立市が桜のまちとなった原点の地と言えます。ただ残念ながら、その歴史は風化しつつあり、公園も荒れてきていました。

昨年、石碑の後ろに植えられていた一本の桜の樹が、仲町学区の「わがまちの桜23選」に選定され、仲町学区コミュニティ推進会ではその桜を後世に残していくために、施肥の方法を学び実践しました。それがきっかけとなり、この公園のすべての桜の樹と、歴史を守りたいとの思いから、学区内外の有志が立ち上がり公園里親団体「桜塚まもり隊」として2024年に発足しました。同年7月から、毎月1回草刈りや掃除などの美化活動をしています。

日鉱記念病院の山側にある「諏訪台桜塚三角公園」は通称桜塚と呼ばれ、毎年見事な桜が住民を楽しませてくれます。公園の中央には「桜塚」と彫られた石碑が立っています。この石碑は、日立鉱山所長であった角弥太郎氏が鉱山社宅周辺地域、鉱山電車沿線などに2000本のソメイヨシノを植樹し、市街地の美化に大きく貢献したその功績を称えるために、昭和9年、当時の日立製作所日立工場長だった高尾直三郎氏が建立しました。

**桜のまち日立市の原点  
「桜塚」の歴史と桜をまもりたい**

桜塚まもり隊  
代表 下山田幹子



高所作業となる枝の剪定

2月9日(日)の活動日には、桜塚まもり隊から13名が参加。さらに先輩里親団体の日立さくら研究会(田柳造園の職人さん)から7名の専門的な協力をいただき、高所作業となる枝の剪定や雑木の伐採を行いました。

これまででは、テング巢病に罹り枯死している枝が散見され、通行人や通行車両に落下しないか心配でしたが、おかげさまで安全を図ることができました。また、かなりすっきりして明るくなり、子どもたちが遊んでいても周囲から見守れるようになりました。

枝が短くなり、数年は寂しい桜となりますが、かつてのように華やかな「桜塚」となるように、整備してまいります。そして、活動を通して郷土の誇れる歴史を未来に伝承していきたいと願っています。

皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

**NAKAYA**  
有限会社  
**中屋助善**  
日立市神峰町 2-7-3  
TEL 21-0635  
FAX 21-0639

株式会社 **天尚堂**  
〒317-0054 日立市本宮町 4丁目 4番21号  
TEL 0294(21)2225/FAX 0294(24)4599  
フリーダイヤル 0120-66-2225

TSD宮田葬祭場  
日立市宮田町 5丁目 4番12号  
TEL 0294(24)2222(代)  
FAX 0294(24)2322番

一般・訪問歯科診療  
**小島歯科医院**  
訪問歯科診療専用ダイヤル  
**090-6479-8020**  
訪問診療日 毎週 木、金、土  
時間 9:00 ~ 18:00  
電話問合せ 月~土 随時OK  
日立市宮田町 3-10-4  
☎ 0294-21-1698

第1回スポーツレクリエーション大会

体育部

底冷えの続く2月1日日立体育振興会主催の5学区対抗レクリエーション大会が開催されました。仲町学区からは8名が参加しました。

種目はスピード玉入れと簡単ボッチャの2種目で争いました。

各学区とも、苦戦しながらも楽しくやれた様子。熱気を帯びた応援もあり何かばかばかの内に終了となりました。

結果はスピード玉入れが優勝、簡単ボッチャが準優勝でした。頼もしいメンバーでした。



優勝杯と賞状を手にして

映画鑑賞会『ある町の高い煙突』を観て

生涯学習推進部

1月26日(日)仲町交流センターホールにおいて映画『ある町の高い煙突』の鑑賞会が開催されました。27人が参加しました。

新田次郎の同名の小説を松村克弥監督が映画化したものです。

1905年に久原房之助が日立鉱山を開業して、銅精錬を開始しましたが、亜硫酸ガスによって農作物に被害が発生しました。映画では、煙害に対する住民側と会社側の熱い交渉が描かれています。関右馬允が煙害対策に立ち向かい、久原も積極的に煙害に対して補償しました。日立では足尾や小坂、別子のような公害は絶対に起こさないと久原の固い決意がありました。会社経営よりも環境が優先するという久原の考えは、今のSDGsに通じるものがありました。

では大煙突がなぜあの1

55・7メートルの高さなのかをお話します。

まず大煙突の高さは、300尺(91.44m)と500尺(152.4m)の2通りの案

がありました。神峰山頂から気球を揚げて高層気流を観測した結果、煙突は300尺では低く、500尺の高さが必要とわかりました。

日本の高層気象台設置が1920年ですから、それより早く(あるいは日本で初めて?)日立では高層観測を行っていたこととなります。

当時、世界最高の煙突は、アメリカ・モンタナ州にある506フィート(154.2m)でした。日立の大煙突は最終的にはそれよりも5フィート高い511フィート(155.7m)として、当時世界一高い煙突となったのです。

大煙突倒壊後にわかったことですが、大煙突は当時最新の技術であった鉄筋コンクリート製であり、その鉄筋にはアメリカから輸入した異径鉄筋(ジョンソンバー)が使われていました。

さらにコンクリート強度は、現在のコンクリートよりはるかにすぐれたコンクリートであったこともわかりました。

世界最高の技術で作られた大煙突は、われわれの大切な宝物です。

(佐藤朝美)



現在の大煙突



倒壊前の大煙突

うどん、そば 丼物類、ラーメン

日立食堂

宮田町3-5-5 TEL21-1085

鮮魚仕出し

市毛魚店

宮田町4-8-12 ☎(21)0244

手打うどん・そば処

伊勢屋

宮田町3-5-19 ☎ 21-3755

東京海上日動火災保険株式会社 代理店 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 代理店

超保険

ロイヤルステイタスクラブ会員 有限会社 ONE TEAM かみね支店

〒317-0055 日立市宮田町3丁目9番2号 TEL. 0294-21-1390 FAX. 0294-21-1391 E-mail Kamine@Kamine-h.jp

健康講座  
認知症予防講演会

生涯学習推進部

2月13日(木)仲町交流センターホールにおいて、日立さくらクリニック院長の工藤純夫先生による健康講座が開催されました。演題は「健康寿命をのばそう」認知症予防について」でした。41名の方が聴講しました。

認知症は加齢にともなう病気です。高齢化社会となった現在、健康寿命を短くしている原因は、1位が脳卒中、2位が認知症です。認知症高齢者の数は2060年まで増え続けると言われています。

認知症の種類はいくつかありますが、そのうちのひとつに「脳にゴミがたまる認知症」があります。世間で言われている認知症のほとんどがこのゴミ(アミロイドベータなど)がたまるアルツハイマー型認知症です。このゴミは発症の20年前からたまり始めます。例え

ば75歳で発症した人は、55歳からゴミがたまり始めていました。タバコを吸っている人、血圧の高い人、太っている人、糖尿病の人は要注意です。

認知症の症状としては、新しいことを覚えられない、少し前の体験を忘れる、道具が使えない、道に迷う、食事の準備ができない、などがあります。

薬で認知症を治すことはできませんが、進行を遅らせることができます。今では新薬が開発されています。治療の対象は早期段階の患者さんです。脳に異変を感じたら、早めに専門医に診てもらおうことが大事です。日立総合病院が治療を開始しています。



講座に聴き入る皆さん

仲町子ども  
お楽しみ会

青少年育成部

2月9日(日)に『仲町子どもお楽しみ会』が交流センターで開催されました。仲町の児童25名に、保護者とスタッフを含めて総勢40名が参加し、前半はオリジナルホットケーキづくり、後半は大判ひたち郷土かるたあそびを行いました。

オリジナルホットケーキづくりはホールで、参加児童を5つのグループに分けて行いました。まず、スタッフがホットケーキづくりと、生クリームづくりのお手本を示してから、各グループで実践しました。ホットケーキは

家庭用のホットプレートで焼いて、焼きあがったら、自分たちで泡立てた生クリームやイチゴ、チョコチップ等をそれぞれの好きなようにトッピングして味わっていました。

後半は、和室で大判ひたち郷土かるたあそびを行いました。郷土かるたの絵札は通

常、手のひらサイズですが、今回はA4判に拡大してラミネート加工した絵札を使用しました。会場は和室の中央を仕切るふすまを取り払った2部屋の全体に絵札を広げて、その絵札を子供たちが取り囲みました。自然と正座で待つのがルールになって、後は通常のかると同様、最後の一枚がなくなるまで真剣勝負が続きました。

会の最後には、参加した子供たちから、ホットケーキを焼いたり、生クリームを泡立てたりするのが難しかったが、楽しかったことや、かるたはあまりとれなかったが、楽しかったことなどの感想が発表されました。



お楽しみ会の子どもたち

仲町学区  
ホームページの  
QRコードです



総合サービス家電販売専門店  
**栗原電気商会**  
日立市神峰町2-4-15  
TEL 0294-22-1122



FREEDOM  
WORK SHOP  
有限会社 **自由工房**  
SIGN OUT DOOR IN DOOR  
日立市宮田町3-3-18  
☎ 22-0217

塗装のことなら、  
地元密着の当社へ。



**常磐塗装株式会社**  
日立市宮田町3-3-8  
☎ 22-1611

いがりさんの  
仲町オモシロ講座その 4

日立市郷土博物館

猪狩 俊哉



蛇塚①

今年も早や2か月が過ぎ、いさらですが、今年の干支にちなむ話題をひとつ。

仲町交流センターから北西3キロメートルの山中に蛇塚があります。蛇塚とは、へびのお墓のことで、次のような伝説があります。

今の蛇塚のあるあたりは大木の生い茂る深い森で、そこには大蛇がすんでいた。村人たちは大蛇に苦しめられていたので、宮田にすむ水庭若狭守という武人が村人を救うために、大きな弓矢で大蛇を射止めた。村人はたいへん喜んだが、大蛇のたたりを恐れたため、その死がいを地中に埋め、石碑を建て、供養した、という言い伝えです。

そこで、正月早々に家族

を誘って、蛇塚を目指すハイキングにでかけました。鞍掛山の清掃センターから北へ500メートルほどの駐車場に車を停めると、道路をはさんで東西両方にハイキングコースがあります。蛇塚へは、西側の神峰山をめざすコースを利用します。

蛇塚には、解説板とともに高さ1メートル、幅7センチメートルほどの、大きな石碑が建っています。石碑の表面にはかすかに文字らしき凹凸がありますが、風化してはつきりしません。蛇塚を紹介する本には、一番上に梵字(仏教に関する古いインドの文字)、その下に「■供養之墓」と彫られている、とあります。

ハイキング決行の1月2日は、外気温が10℃を超える小春日和で、小4と年長の娘2人を伴い、休憩多めのゆつくりペースでしたが、蛇塚までの片道約2・2キロメートルを1時間ほどで歩くことができました。スタート直後の急なぼり階段で思いつきのハイキングを後悔しましたが、その後

■は風化してはつきりしません。せんが、伝説をもとにすれば、「蛇」と彫られているところ、蛇塚にはもう一つの伝説があります。それは、被害に苦しむ村人を救うために、水庭若狭守久が大蛇を射止めたのですが、その義久が蛇の毒で死んでしまったので、亡きがらをその地に葬り石碑を建てた。そして、義久の息子の源が父を思い、石碑のそばに松を植え、石碑に文字を刻んだ、と言うものです。

は歩きやすい道が続きます。蛇塚までの道のりで感動したのは、まっすぐに続くヒサカキのトンネルです。その木立のトンネルを抜けてまもなく、大煙突の見える展望台への看板があります。そこを通り過ぎるとすぐに蛇塚に到着します。

ハイキングを終え、この原稿提出のしめ切りを間近

に控えたある日、博物館の同僚に誘われました。「風化で字が読めないようだが、拓本をとれば石碑の字がはつきりするんじゃないか」と。そこで、拓本をとるため、蛇塚へのハイキングをおかわりすることにしました。次回、蛇塚のナゾに迫ります。



正面から見た蛇塚の石碑

皆さんは、仲町交流センターに、日立紅寒桜があるのをご存知でしょうか。今年は例年より遅く2月10日に開花しました。昭和40年代に、JR小木津駅に植樹された桜の一つが、地域固有の新種と考えられ、研究・育成が行われたそうです。平成13年に日立紅寒桜と命名され、平成18年に農水省より品種登録されました。原木は枯れましたが、芽接ぎ等により生まれたクローン苗木が市内各所にあります。280本植栽されたうちの3本が仲町交流センターにあります。

極早咲きで少しずつ開花し3月上旬頃が見頃です。是非足を運んで、春の訪れを感じてみてください。山元外志子



編集後記

仲町学区コミュニティ推進会  
仲町地区社会福祉協議会  
令和7年度  
総会開催のお知らせ  
日時:4月20日(日)  
午前9時30分~  
場所:仲町交流センター